

労働力調査（基本集計）2019年（令和元年）平均（速報）結果の要約

1. 2019年平均の完全失業率は2.4%と、前年と同率
完全失業者数は162万人と4万人減少（10年連続の減少）

・完全失業率について、男性は2.5%と0.1ポイントの低下、女性は2.2%と同率
（「本文」13, 14ページ）

2. 2019年平均の就業者数は6724万人^{※1}と、前年に比べ60万人増加（7年連続の増加）

・男性は3733万人と16万人の増加、女性は2992万人²と46万人の増加
・15～64歳の就業者数は5832万人と30万人の増加、65歳以上の就業者数は892万人と30万人の増加

- 1 比較可能な1953年以降で過去最多（2年連続で過去最多を更新）
- 2 比較可能な1953年以降で過去最多（7年連続で過去最多を更新）

（「本文」5ページ）

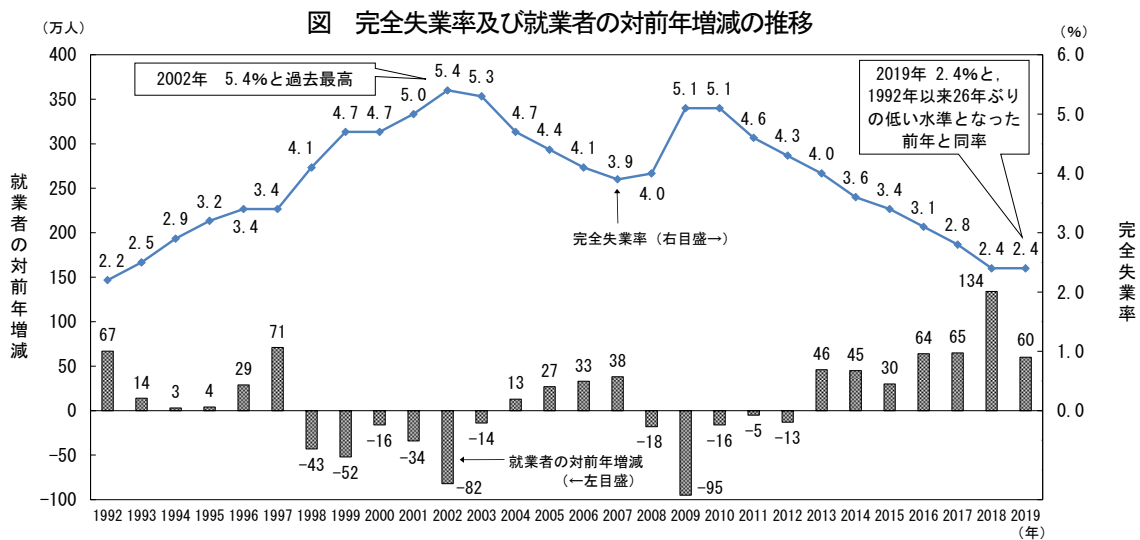


表1 年齢階級別就業者数の推移

	男女計								男			女			
	総数	15～64歳	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	総数	15～64歳	65歳以上	総数	15～64歳	65歳以上	
実数	2009年	6314	5750	513	1277	1453	1280	1227	565	3666	3315	351	2649	2434	214
	2010	6298	5728	492	1247	1472	1291	1227	570	3643	3293	350	2656	2434	221
	2011	6293	5722	481	1217	1503	1286	1235	571	3639	3289	349	2654	2433	222
	2012	6280	5684	472	1192	1514	1301	1205	596	3622	3258	365	2658	2426	231
	2013	6326	5690	483	1173	1522	1336	1177	637	3620	3231	390	2707	2459	247
	2014	6371	5689	486	1158	1523	1365	1158	682	3635	3220	416	2737	2469	267
	2015	6401	5670	488	1136	1509	1400	1137	732	3639	3196	443	2764	2474	288
	2016	6465	5695	512	1130	1482	1445	1126	770	3655	3193	462	2810	2502	308
	2017	6530	5724	519	1124	1458	1489	1134	807	3672	3188	483	2859	2535	324
	2018	6664	5802	562	1120	1436	1535	1148	862	3717	3206	512	2946	2596	350
2019	6724	5832	580	1110	1401	1580	1162	892	3733	3202	531	2992	2630	361	
対前年増減	2009年	-95	-106	-33	-44	14	-14	-28	12	-79	-83	4	-15	-23	7
	2010	-16	-22	-21	-30	19	11	0	5	-23	-22	-1	7	0	7
	2011	-5	-6	-11	-30	31	-5	8	1	-4	-4	-1	-2	-1	1
	2012	-13	-38	-9	-25	11	15	-30	25	-17	-31	16	4	-7	9
	2013	46	6	11	-19	8	35	-28	41	-2	-27	25	49	33	16
	2014	45	-1	3	-15	1	29	-19	45	15	-11	26	30	10	20
	2015	30	-19	2	-22	-14	35	-21	50	4	-24	27	27	5	21
	2016	64	25	24	-6	-27	45	-11	38	16	-3	19	46	28	20
	2017	65	29	7	-6	-24	44	8	37	17	-5	21	49	33	16
	2018	134	78	43	-4	-22	46	14	55	45	18	29	87	61	26
2019	60	30	18	-10	-35	45	14	30	16	-4	19	46	34	11	

3. 2019年平均の就業率は60.6%と、前年に比べ0.6ポイント上昇（7年連続の上昇）

- ・男性は69.7%と0.4ポイントの上昇，女性は52.2%と0.9ポイントの上昇
- ・うち15～64歳は77.7%¹と0.9ポイントの上昇。男性は84.2%と0.3ポイントの上昇，女性は70.9%²と1.3ポイントの上昇
- ・なお，65歳以上は24.9%と0.6ポイントの上昇。男性は34.1%と0.9ポイントの上昇，女性は17.8%と0.4ポイントの上昇

- 1 比較可能な1968年以降で過去最高（7年連続で過去最高を更新）
- 2 比較可能な1968年以降で過去最高（10年連続で過去最高を更新）

（「本文」6ページ）

表2 年齢階級別就業率の推移

(%,ポイント)

		男女計			男			女		
		総数	15～64歳	65歳以上	総数	15～64歳	65歳以上	総数	15～64歳	65歳以上
実数	2009年	56.9	70.0	19.6	68.2	80.2	28.4	46.2	59.8	13.0
	2010	56.6	70.1	19.4	67.7	80.0	27.8	46.3	60.1	13.1
	2011	56.5	70.2	19.2	67.6	80.1	27.5	46.2	60.2	13.0
	2012	56.5	70.6	19.5	67.5	80.3	27.9	46.2	60.7	13.2
	2013	56.9	71.7	20.1	67.5	80.8	28.6	47.1	62.4	13.7
	2014	57.3	72.7	20.8	67.7	81.5	29.3	47.6	63.6	14.3
	2015	57.6	73.3	21.7	67.8	81.8	30.3	48.0	64.6	15.0
	2016	58.1	74.3	22.3	68.1	82.5	30.9	48.9	66.0	15.8
	2017	58.8	75.3	23.0	68.4	82.9	31.8	49.8	67.4	16.3
	2018	60.0	76.8	24.3	69.3	83.9	33.2	51.3	69.6	17.4
2019	60.6	77.7	24.9	69.7	84.2	34.1	52.2	70.9	17.8	
対前年増減	2009年	-0.9	-0.8	-0.1	-1.6	-1.4	-0.6	-0.3	0.0	0.1
	2010	-0.3	0.1	-0.2	-0.5	-0.2	-0.6	0.1	0.3	0.1
	2011	-0.1	0.1	-0.2	-0.1	0.1	-0.3	-0.1	0.1	-0.1
	2012	0.0	0.4	0.3	-0.1	0.2	0.4	0.0	0.5	0.2
	2013	0.4	1.1	0.6	0.0	0.5	0.7	0.9	1.7	0.5
	2014	0.4	1.0	0.7	0.2	0.7	0.7	0.5	1.2	0.6
	2015	0.3	0.6	0.9	0.1	0.3	1.0	0.4	1.0	0.7
	2016	0.5	1.0	0.6	0.3	0.7	0.6	0.9	1.4	0.8
	2017	0.7	1.0	0.7	0.3	0.4	0.9	0.9	1.4	0.5
	2018	1.2	1.5	1.3	0.9	1.0	1.4	1.5	2.2	1.1
2019	0.6	0.9	0.6	0.4	0.3	0.9	0.9	1.3	0.4	

4. 2019年平均の正規の職員・従業員数は3503万人と、前年に比べ18万人増加（5年連続の増加）。非正規の職員・従業員数は2165万人と45万人増加（6年連続[※]の増加）

- ・正規の職員・従業員を男女別にみると，男性は2342万人と5万人の減少，女性は1161万人と23万人の増加。年齢階級別にみると，15～64歳は3389万人と15万人の増加，65歳以上は114万人と3万人の増加
- ・非正規の職員・従業員を男女別にみると，男性は691万人と22万人の増加，女性は1475万人と24万人の増加。年齢階級別にみると，15～64歳は1777万人と15万人の増加，65歳以上は389万人と31万人の増加
- ・役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は38.2%と0.4ポイントの上昇

前年と比較可能な2014年以降

（「本文」9ページ）

5. 2019年平均の非労働力人口は4197万人と、前年に比べ66万人減少（7年連続の減少）

- ・うち65歳以上は2万人増加

（「本文」4ページ）

－ 留意事項 －

2011年平均（全国及び東北）は，東日本大震災の影響により，関連統計等を用いて補完推計を行った。

また，2017年の結果から算出の基礎となるベンチマーク人口を，2010年国勢調査結果を基準とする推計人口（旧基準）から2015年国勢調査結果を基準とする推計人口（新基準）に切り替えた[※]。これに伴い，2010年から2016年までの数値については，東日本大震災による補完推計の値も含め，比率を除き，新基準のベンチマーク人口に基づいて遡及又は補正した時系列接続用数値を別途算出した。本冊子には，この時系列接続用数値を掲載するとともに，同数値により前年比較を行っている。

※ この切替えによる変動（ギャップ）は，全国の15歳以上人口（2015年9月結果）で+35万人（新基準－旧基準）となっている。